

遠野市監査委員告示第1号

平成23年2月18日

地方自治法第199条第4項の規定に基づく定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり公表します。

遠野市監査委員 佐藤 サヨ子

遠野市監査委員 荒田 良治

遠野市監査委員 荒川 栄悦

平成22年度定期監査結果報告書（後期）

1 監査の目的

定期監査は、平成22年度における財務に関する事務の執行及び経営に係る事業が地方自治法第2条第14項及び第15項の趣旨に則り、合理的かつ効率的に行われているかどうかについて監査することを目的に、同法第199条第4項の規定に基づいて実施するものである。

2 監査の期日及び対象課等

- (1) 実施期間 平成23年1月7日から同年1月28日までに延べ8日
- (2) 監査対象及び説明聴取の実施期日 次表のとおり19課等及び小中学校については、19校中10校を対象に実施した。

月 日	対 象 課 等
1月7日	文化まちづくり推進室、社会教育課、青笹中学校
1月12日	土淵小学校、上郷小学校、土淵中学校、上郷中学校
1月14日	遠野小学校、附馬牛小学校、遠野中学校、附馬牛中学校
1月17日	松崎地区センター、土淵地区センター、学校給食センター、青笹小学校
1月19日	綾織地区センター、小友地区センター、青笹地区センター、上郷地区センター
1月24日	宮守地区センター、宮守学校給食センター
1月26日	文化課、遠野物語100周年プロジェクト推進室、スポーツ健康課、附馬牛地区センター
1月28日	地域生活課、遠野地区センター、教務課、学校教育課

3 監査の内容

- (1) 所管事務の執行状況
- 34の事務事業について、財務に関する事務の執行が適正かつ効率的に行われているか、各種の事業が合理的かつ効率的に行われているかを主眼として監査した。
- (2) 共通事項
- ア 各課等で該当する使用料・手数料
 - イ 現金等の保管状況
 - ウ 郵便切手類の保管及び受払
 - エ 物品の管理及び出納
 - オ 車両の運行管理

4 監査の方法

監査書類の提出又は提示を求め、その内容について照合確認するとともに関係職員から説明を聴取して実施した。

5 監査の結果

各課等で所管する事務事業から抽出した予算執行及び事務事業並びに共通事項を監査した結果は、別記のとおりである。

監 査 結 果

事務処理上の軽易な誤りや不備な事項については、その都度関係職員に対して口頭で改善又は検討するよう述べたので、本書への記述を省略する。

【所管事務の執行状況及び意見等】

1 文化課

所管事務は、文化に係る施策の企画及び連絡調整に関すること、文化財の指定及び解除並びに修理又は復旧の勧告及び現状変更の許可に関すること、郷土芸能の育成・振興に関すること、遠野遺産に関すること、重文千葉家住宅及び文化的景観事業に関すること、とおの昔話村及び下一日市地区文化施設等の企画整備運営に関すること、図書館及び博物館に関すること等である。

○加守田章二陶房跡保全整備調査事業費

特に問題点は、見受けられなかった。

この事業費は、青笹町踊鹿に残されている陶芸家・加守田章二の陶房を改修して保全し、周辺を整備して一般公開しようという事業で、適正に執行されていると認められる。

○博物館費

特に問題点は、見受けられなかった。

この事業費は、とおの昔話村・遠野城下町資料館・遠野蔵の道ギャラリーの管理業務及び博物館受付業務を遠野アドホック(株)に委託している業務等で、適正に執行されていると認められる。

遠野物語発刊100周年に合わせて市民待望の博物館がリニューアルされ、多くの市民や観光客等が入館されているということである。また、適正に管理運営されていると認められる。今後もより一層のサービス向上に努められたい。

○とおの昔話村整備事業費

特に問題点は、見受けられなかった。

この事業費は、平成24年の柳田國男没後50年にリニューアルオープン予定の展示設計業務等で、適正に執行されていると認められる。

リニューアルに向けて展示関係等が順調に進んでいると認められる。また、的確に市民の要望や他の観光関係者の話を参考にする等、展示内容の充実さを伺うことができた。観光客等交流人口の拡大につながることを期待する。

2 遠野物語100周年プロジェクト推進室

所管事務は、遠野物語発刊100周年記念プロジェクト（以下この項において「プロジェクト」という。）の企画及び調整、進行管理に関すること、プロジェクトの実施に係る関係機関等との連携及び情報の収集に関すること、「遠野物語」及び柳田國男に関わる事項の調査に関することである。

○遠野物語100周年プロジェクト記念事業費

支出負担行為票や支出命令票及び添付書類に一部不適切な事務処理が見受けられたので、適正なる事務の執行に努められたい。

この事業費は、遠野物語発刊100周年の記念事業等で6月12日～13日開催した遠野物語100年祭、12月23日開催した「これからの100年にむけて(新たな物語を紡ぐ)」のイベント等で、概ね適正に執行されていると認められる。

遠野物語発刊100周年ということで、市民協働で各種イベントに積極的に取り組んだ各種団体をはじめ市民の盛り上がり、遠野の宝である「遠野物語」や遠野の魅力が全国的に新聞・雑誌・テレビ等で多く掲載・放映され、遠野の情報発信に大きく寄与したこと、また、多くの観光客等が訪づれ、交流人口の拡大と市内及びまちなかの経済活性化に貢献したことなど、この事業に関わる相乗効果は計り知れないものがあつたとも思われ、大いに評価できる。

また、この事業により多くの市民が、意識の変化や喜びを感じるとともに、遠野に生まれ育つたことを誇りに思える事業内容であつたと認められる。

「遠野物語」によって当市が全国的な知名度を得たことを市民全体で再確認したこと、「永遠の日本のふるさと」の実現と民俗学の学術研究拠点を目指し、これからの100年に向けて新たな物語を紡いでいくため、百年の縁を100年続く絆にするため遠野文化研究センター開設準備室を設置するなど、単なる一過性のイベントではなく、今後も継続的に取り組む姿勢・意気込みが強く感じられた。

3 文化まちづくり推進室

所管事務は、中心市街地活性化対策に関すること、中心市街地活性化事業に関すること等である。

○ふるさとの街賑わい創出事業費

特に問題点は、見受けられなかった。

この事業費は、「中心市街地活性化基本計画」及び「都市再生整備計画」に基づき、国の社会資本整備総合交付金を活用して中心市街地の施設整備(ハード事業)や遠野町家のひなまつりの開催(ソフト事業)等、中心市街地の活性化を行なう事業で、事業費の約4分の3は翌年度に明許繰越するということであるが、適正に執行されていると認められる。

遠野の玄関口である駅前地区整備については、現地説明会や地権者交渉、現地調査等、最善を尽くした職員の努力を伺うことができた。

長い間の市民の願いがやっと目に見える形になり、市民の期待は膨らんでいる。

今回の整備は、駅前地区に整備する旧村順家蔵の部材を一部活用する観光交流センター及び旧JAビルを改修する(仮称)まちおこしセンター、昔話村に整備する旧伊藤家及び旧赤羽根家蔵復元工事であるが、「永遠の日本のふるさと遠野」の景観にふさわしい建物で、市民や観光客にとって親しみやすく利用しやすい場所にあるので、経済効果はあると思われる。ハード面は進行されているが、ソフト面は地元商店街や地域住民とのコンセンサスの形成等、市民協働によるまちづくり体制の構

築が課題であると思われる。産学官一体となって中心市街地の活性化及び全国に地域情報や観光情報等を発信し、観光客等の交流人口の拡大につながることを期待する。

遠野町家のひなまつり事業は、商工会女性部が中心となって立ち上げて以来、遠野ふゆ物語のイベントとして定着しており、市民全員でもてなす気持ちで継続して欲しい。また、意欲ある商店主や後継者の人材育成及び団体育成に力を入れて商店街を活気ある街にして欲しい。

4 地域生活課

所管事務は、市民協働のまちづくり及び市民憲章運動に関する事、自治組織その他の地域活動の育成に関する事、市民センター及び地区センターの事務及び事業の総合調整に関する事、地域安全推進に関する事、交通対策の総合的な企画、調整及び推進に関する事、消費者の保護対策及び市民相談に関する事、指定管理者制度に関する事、市民センター施設の管理及び使用許可に関する事等である。

○消費者行政費

特に問題点は、見受けられなかった。

この事業費は、岩手県弁護士会への法律相談業務の委託、地域勤労者の生活の安定と福祉の向上を図るための勤労者生活安定資金貸付預託金、及び消費者の債務整理等の円滑化を図るための金融機関への消費者救済資金貸付預託金(多重債務整理等と生活再建資金分)等で、適正に執行されていると認められる。

法律相談件数は平成22年11月末現在78件で前年度と比較して46件減少しているということである。また、勤労者生活安定資金貸付状況は、平成22年11月末現在で1件、1,000千円、消費者救済資金貸付状況は、多重債務整理等が平成22年10月末現在で6件、11,130千円、生活再建資金が2件、450千円で、消費者救済資金貸付が前年度と比較して1件1,140千円減少しているということである。

法律相談業務委託については、法律的な相談が今日増加しており継続して欲しい事業であると思われる。生活安定資金や消費者救済資金の市民への周知については、広報紙や高齢者を対象とした鍋城大学等の出前講座等でPRをしているということである。

5 社会教育課

所管事務は、生涯学習の推進に関する事、男女共同参画社会の推進に関する事、高齢者団体の育成、高齢者の教養及び健康づくり活動に関する事、青少年の指導及び育成に関する事、放課後子ども教室推進事業に関する事、地域教育協議会に関する事、勤労青少年ホームの管理運営に関する事、武蔵野児童交流に関する事、国際交流に関する事、芸術文化の振興に関する事等である。

○放課後子どもプラン推進事業費

特に問題点は、見受けられなかった。

この事業費は、市内の児童館及び児童クラブで、子どもたちの放課後の居場所が確保されていることから、宿題や自主学習の仕方の習慣化を図ることを目的に、放

課後こども教室として市内全11小学校区で、学習アドバイザーや安全管理員を派遣し開催している事業で、適正に執行されていると認められる。

この事業に取り組まれてから学力が向上されているという結果も伺うことができた。各教室とも参加者数から見ても評価できる取り組みだと認められる。刺激や競争力が少ない遠野の子どもたちには、今後も必要とされる事業であると思われる。

○青少年活動サポート事業費

特に問題点は、見受けられなかった。

この事業費は、わらすっこまつり実行委員会及び青年団体協議会への補助と成人式の支援及び少年少女囲碁将棋教室の開催事業等で、適正に執行されていると認められる。

わらすっこまつりは、毎年多くのボランティアが子どもたちに体験と遊びの場を提供しており評価できる。恒例行事ではあるが、心豊かな「とおのっこ」が育っていることを伺うことができた。成人式は実行委員会が中心となり計画、実行している点は評価できる。長い間継続している少年少女囲碁将棋教室は、子どもたちに思考力や判断力を身に付けさせる点や、プロ棋士による将棋教室の開催等必要性はあると思われる。青年団体協議会については、当市の将来を担う貴重な人材なので、まちづくりやイベント等に積極的に関わることを期待する。また、青年層の人材育成にも力を入れて欲しい。

6 スポーツ健康課

所管事務は、スポーツ振興基本計画の策定及び進行管理に関すること、健康意識の普及に関すること、健康づくりの総合調整に関すること、市民の健康づくり総合プログラムの推進に関すること、地域健康づくりプログラム(総合型地域スポーツクラブ)推進に関すること等である。

○宝くじスポーツフェア・ドリームベースボール事業費

特に問題点は、見受けられなかった。

この事業費は、市制5周年を記念して、野球スポーツ少年団や指導者をはじめ、野球を愛する市民に、プロ野球で活躍した往年の名選手のプレーを生で見る機会の提供と子どもたちに直接技術指導を行い、当市の野球振興につなげることを目的として多くの市民が参加して開催された事業で、適正に執行されていると認められる。

この事業を計画・実行された職員の前向きな姿勢と夢のある楽しい事業内容は評価できる。野球教室に参加した473名の子どもたちに夢と感動を与えたと思われる。

○健康スポーツプログラム推進事業費

特に問題点は、見受けられなかった。

この事業費は、「健康づくり総合プログラム」に基づき市民センター及び福祉の里を本校に、各地区センターをサテライト校として「健康づくり総合大学(愛称:とすば)」を設置し、市民一人ひとりがそれぞれの年齢や健康状態に応じて積極的に取

り組むことができる、各種プログラム(運動教室等)を実践している事業で、内容も豊富で適正に執行されていると認められる。

7 地区センター(地区公民館)

所管事務は、市民憲章の普及推進に関すること、市政懇談会に関すること、自治組織その他の地域活動の育成に関すること、婦人学級・老人学級・家庭教育学級その他の学級の実施に関すること、体育・スポーツ・レクリエーション活動に関すること等である。

○地区センター及び地区公民館業務の執行状況について

地区センター管理業務については、特に問題点は、見受けられなかった。

公民館業務の中で、各地区公民館がスポーツ健康課と連携して健康スポーツプログラム推進事業に取り組み、「健康づくり総合大学」サテライト校として各種スポーツ教室を開催しているが、特に問題点は、見受けられなかった。

また、「生涯学習のまちづくり推進費」の意見等については、次のとおりである。

地区公民館	監 査 意 見 等
遠 野	<p>特に問題点は、見受けられなかった。</p> <p>この推進費は、「鍋城大学(高齢者教室)」開催事業で、適正に執行されていると認められる。今後の予定は「家族でひなまんじゅう教室」を開催するということである。</p> <p>「鍋城大学(高齢者教室)」開催事業は、高齢者を対象に社会情勢や知識を習得する場とて、長年に渡り継続して取り組んでいるということであり評価できる。</p> <p>地域づくりについては、遠野さくらまつりのメイン行事である「南部氏遠野入部行列」を中心に伝統行事を継続しながら、人材育成にも努めており、地区センターの中心として多くの行事を通して地域を守り育てている状況や区長会との連携体制を伺うことができた。</p>
綾 織	<p>特に問題点は、見受けられなかった。</p> <p>この推進費は、「快適な田舎暮らし講座」と「浴衣の着付け講座」開催事業で、適正に執行されていると認められる。</p> <p>計画が前向きで最小経費で事業が行なわれており、効率的に経費が使用されていると認められる。また、年齢層に合わせた事業が実施されており、他の模範となる事業が行なわれていると認められる。</p>

	<p>事業内容の見直しも行なわれており新しい講座も実施されている。若者にも目を向け、婚活も視野に入れた事業も見られ、企画や他にない発想の柔軟性があり、次世代づくりを視野に入れて事業が実施されている点は評価できる。</p> <p>地域づくりについては、「花街道あやおり」の活動をはじめ、「遠野風の丘」を上手く利用して、それぞれの団体が輝いて活動しており、さらなる地区センターのサポートを期待する。</p>
小 友	<p>会費を徴収する事業については、収支決算書の作成等適正なる事務の執行に努められたい。</p> <p>この推進費は、「ハーブ教室」と「ハーブリース作り教室」開催事業で、概ね適正に執行されていると認められる。今後の予定は「つるし雛教室」、「ちぎり絵教室」、「体験茶道教室」事業を開催するということである。</p> <p>地域性もあると思われるが、各事業の参加者が少ないように思われ、参加者を増やす工夫が必要ではないかと思われる。事業に対する住民の温度差があるように思われ、職員の苦労を伺うことができた。主事研修会等で情報交換等をしながら、時間は要すると思われるが他地区と同等な活動を期待したい。</p> <p>地域づくりについては、「産直ともちゃん」をはじめ「小友まつり」や「裸参り」を中心に各地区のまつり、御祝い等の多彩な郷土芸能や行事、小友技名人等の保存伝承に取り組んでおり、他地区には見られない独特の地域文化が根付いている様子を伺うことができた。</p>
附 馬 牛	<p>会費を徴収する事業については、収支決算書の作成等適正なる事務の執行に努められたい。</p> <p>この推進費は、「ピザ作り教室」と「絵手紙教室」開催事業で、概ね適正に執行されていると認められる。</p> <p>ピザ作り教室の経費については、共催した児童クラブも負担して実施しており、親子のふれあいを中心に事業が生まれきずなを深めている状況を伺うことができた。保育園・小学校・中学校・地区センターが同一エリア内に配置されており、環境を上手く利用して事業が実施されていると認められる。また、人材育成は順調に進んでいるように思われる。</p>

	<p>地域づくりについては、各地区でのまつりや郷土芸能の保存伝承活動を中心に、子どもに伝えたいお袋の味事業等、「遠野ふるさと村」や「大出早池峰学校」とも連携しながら、地域と一体となって取り組んでいる状況を伺うことができた。さらに地域の活性化が図られるように頑張ってもらいたい。</p>
松 崎	<p>会費を徴収する事業については、収支決算書の作成等適正なる事務の執行に努められたい。</p> <p>この推進費は、「つるし雛作り教室」と「正月しめ飾り教室」開催事業で、概ね適正に執行されていると認められる。</p> <p>事業内容も充実しており、地区民を講師に活用する等人材育成にも努めていると認められる。</p> <p>地域づくりについては、小正月行事や交通安全コンクール等をはじめ各地区で多くのまつりや行事、交流を行っており職員の努力は評価できる。</p>
土 淵	<p>会費を徴収する事業については、収支決算書の作成等適正なる事務の執行に努められたい。</p> <p>この推進費は、「クリスマスリース作り教室」と「正月飾り付け作り教室」開催事業で、附馬牛・松崎町民にも呼び掛けて開催したということであるが、概ね適正に執行されていると認められる。</p> <p>地域づくりについては、「伝承園」と連携しながら「佐々木喜善祭」や「土淵まつり」を中心に事業も多く、住民一体となって多彩な行事に取り組んでいる様子を伺うことができた。また、人材育成にも努めていると認められ、職員の頑張りは評価できる。</p>
青 笹	<p>会費を徴収する事業については、収支決算書の作成等適正なる事務の執行に努められたい。</p> <p>この推進費は、長年継続で取り組んでいる「笹っ子習字教室」、「子育て村親子ピクニック弁当教室」、「ふるさとのおやつ作り教室」、「子育て村子どもの集い・昔話を聞こう」、「子育て村小正月みずきだんご作り」開催事業で、概ね適正に執行されていると認められる。</p> <p>事業実施にあたっては、地域をうまく巻き込んで児童館等と共催で事業が行われていると認められる。</p> <p>地区センター内の整理整頓がされており、住民が気持ち良く地区</p>

	<p>センターを使用できる状況を把握することができた。</p> <p>地域づくりについては、しし踊りの保存伝承活動をはじめ「子育て村夏祭り」の開催等、住民一体となって多彩な行事に取り組んでいる様子を伺うことができた。</p>
上 郷	<p>会費を徴収する事業については、収支決算書の作成等適正なる事務の執行に努められたい。</p> <p>この推進費は、「陶芸教室」、「上郷もちっこフェスティバル」開催事業で、概ね適正に執行されていると認められる。今後の予定は「パソコン教室」、「ビリヤード教室」事業を開催するということである。</p> <p>地域づくりについては、「上郷まつり」等しし踊りを中心に地域が一体となり、ふるさとづくりに取り組んでいる様子や、地域づくりが活発に行われている状況を把握することができた。人材育成も進んでおり、住民が主体に事業を継続している点は評価できる。</p>
宮 守	<p>会費を徴収する事業については、収支決算書の作成等適正なる事務の執行に努められたい。</p> <p>この推進費は、「森の学校・稲荷穴塾」開催事業で、概ね適正に執行されていると認められる。</p> <p>子どもと保護者、他の地区の子どもたちにも声を掛け、ふるさとの自然や食文化等、地域の良さを体験させている点は評価できる。</p> <p>地域づくりについては、「稲荷穴まつり」や「遠野郷かかし祭り」等、各地区の特性を活かし、独自の運営方法と市民協働(地区)で多くの行事等が実施されており、その取り組みが地区に定着していると思われる。また、住民自らの「やる気」を職員がサポートしており評価できる。</p>

8 教育委員会事務局 教務課

所管事務は、教育委員会の会議に関する事、教育行政の長期かつ総合的な計画の策定に関する事、市立学校の設置、管理及び廃止に関する事、教材整備に関する事、奨学生選考委員会及び奨学資金貸与に関する事、児童及び生徒の就学に関する事、就学困難な児童及び生徒の就学援助に関する事、児童及び生徒の交通安全対策に関する事等である。

○就学援助費

特に問題点は、見受けられなかった。

この事業費は、市内に住所を有し小中学校に在籍する児童・生徒又は市外に住所を有し市内の小中学校に在籍する児童・生徒のうち、経済的理由により就学が困難と認められるその保護者に対して必要な援助を行い、円滑な義務教育を実施する事業で、福祉課と連携しながら適正に執行されていると認められる。

要保護（生活保護世帯）及び準要保護の児童・生徒数は、平成22年12月10日現在、小学校 154人（うち要保護 9人）、中学校 102人（うち要保護 11人）の合計 256人（うち要保護 20人）で、そのうち約57%が学校給食費の援助ということである。

○理科教育設備整備事業費

特に問題点は、見受けられなかった。

この事業費は、平成23年度小学校及び中学校学習指導要領改訂により、理科・算数（数学）備品の整備充実に伴う設備整備で、適正に執行されていると認められる。

監査対象になった各学校を監査した結果、特別教室の整理整頓の出来てない学校が見受けられたので指導を望む。教育環境は重要であると思われる。

○その他

せっかく整備された教材備品が、各学校の管理に差があり、授業に活かされているか疑問に思われるので指導を望む。

9 学校給食センター・宮守学校給食センター

所管事務は、給食センターの施設及び設備の管理に関する事、給食計画の運営に関する事、給食物資その他物品の購入、検収及び保管に関する事、地産地消給食に関する事等である。

○学校給食事業費

食材の購入にあたっては、見積合わせにより単価の安い材料を購入しているが、その中で単価の高い材料を購入する際は、備考欄にその理由を記載されたい。

この事業費は、「地産地消」及び「食育」の推進、学校訪問及び栄養指導、学校給食衛生管理基準に基づく衛生管理の徹底、学校給食費滞納対策を重点施策に取り組んでいる事業で、概ね適正に執行されていると認められる。

年間給食回数は小学校170回、中学校168回で、給食供給人数は平成22年12月13日現在 2,528人、「地産地消」の推進では、米・発芽玄米は全量遠野産を使用し、野菜等の青果物等利用地産地消率は約50%ということである。

老朽化した建物なので食中毒を出さないよう、職員が衛生面に注意を払っている様子は評価できる。地産地消の給食提供に前向きに努力している様子を伺うことが

できた。子どもたちに食育の大切さを教える「ふるさと食材給食事業」（遠野旬を食べよう給食）は継続して欲しい。

学校給食費滞納対策については、納付意識が稀薄な保護者に対して説得するのは大変と思われるが、職員全員で取り組んで成果を上げている様子を伺うことができ努力は評価できる。

10 教育委員会事務局 学校教育課

所管事務は、市立学校の組織編成及び管理運営に関する事、市立学校の学級編成に関する事、教育課程に関する事、学習指導の指導助言に関する事、全国学力・学習状況調査及び岩手県学習定着度状況調査に関する事、教育研究所の指導・運営に関する事、生徒指導・教育相談に関する学校への指導助言に関する事、幼児ことばの教室の運営計画に関する事等である。

○教育研究所費

特に問題点は、見受けられなかった。

この事業費は、教育課程・教材の調査及び研究(算数・数学、外国語・英語、小学校・中学校社会科副読本)、教育相談員の配置(不登校生徒等への指導)、幼児の言語指導(遠野小学校に教育相談員を配置し幼児ことばの教室開催)等の事業で、適正に執行されていると認められる。

教育研究発表会で7分科会に分かれて調査・研究した成果を発表・討論する等、子どもたちの学力向上に力を入れている様子を伺うことができた。遠野のわらすっこの教育環境は、整備されていると思われる。来年度から完全実施される小学校の外国語(英語)教育にも力を入れて欲しい。また、学校間の温度差が出ないよう教諭の意識改革も含め指導を望む。

【共通事項】

各課等で該当する使用料・手数料、郵便切手の保管及び受払、車両の運行管理については、特に問題点は、見受けられなかった。

○各課等の滞納繰越のあるその他歳入

滞納繰越のあるその他歳入では、長期間にわたり回収できていない収入未済額のものが見受けられたので、適正な不納欠損処分事務や歳入確保に努力して欲しい。

○現金の保管状況（通帳等）

通帳の保管状況は、平成22年11月30日現在、遠野市に属するもの及び団体等の通帳を含め 100冊で合計金額が 23,174,332円となっており、市の公金と同様、今後もより一層、厳正に取り扱われたい。

特に各地区センターにおける各種団体の会費及び募金等の徴収は、JAの支店廃

止に伴い、ゆうちょ銀行以外に金融機関がないことや振込み手数料の問題もあり、上郷地区センターを除く地区センターでは、現金を一時保管し入金している状況にあることから、現金の取り扱については、厳正に取り扱われたい。

No.	課 等 名	通帳冊数	預金残高(円)
1	文化課	1	0
2	遠野物語100周年プロジェクト推進室	1	0
3	文化まちづくり推進室	-	-
4	地域生活課	8	1,676,453
5	社会教育課	10	7,073,932
6	スポーツ健康課	3	1,655,883
7	遠野地区センター	7	1,341,458
8	綾織地区センター	8	1,400,244
9	小友地区センター	12	822,886
10	附馬牛地区センター	8	1,611,362
11	松崎地区センター	11	2,813,192
12	土淵地区センター	8	1,435,479
13	青笹地区センター	6	2,373,787
14	上郷地区センター	4	446,755
15	宮守地区センター	10	522,901
16	教務課	1	0
17	学校給食センター	1	0
18	宮守学校給食センター	-	-
19	学校教育課	1	0
	合 計	100	23,174,332

○物品の管理及び出納

物品の管理及び出納については、物品台帳に基づき職員からの聴取により監査を実施した。

市内小中学校を除く課等の物品の管理及び出納については、特に問題点は、見受けられなかった。

市内小中学校の物品の管理及び出納については、学校によって寄贈物品を台帳に記載して管理している学校と記載していない学校が見受けられたので、統一すべきと思われる。また、青笹及び上郷小・中学校の場合、しし踊り保存会からの貸与ということで、郷土芸能用のしし頭を多数保管しているのが見受けられたが、学校の管理下で使用されるのであれば個数の確認等、台帳に記載して管理する方法の検討が必要と思われる。修繕等を要する寄贈物品については、市への寄附申し出の手続きを取って市の物品として管理すべきと思われる。

物品の購入については、教諭から要望をとって優先順位を付けて職員会議等で確認して購入しているということである。また、購入後も教職員で情報共有しており評価できる。

○その他

市内各小中学校とも学校・家庭・地域と一体となり、郷土芸能や昔話等の伝承活動、クラブ活動等に一生懸命に取り組み成果を上げている様子や、それぞれ特色ある学校づくりに取り組んでいる様子を伺うことができた。

市内小中学校に対する物品の管理及び出納の現地監査での意見等は、次のとおりである。

学校名	監 査 意 見 等
遠野小学校	<p>物品台帳に記載されていなかったアップライトピアノもあったので、適正な台帳整備をされたい。</p> <p>教材は効率良く使用されていると認められる。電子黒板機能付デジタルテレビについては活用されていると思われる。</p> <p>安全点検については、計画的に実施されており、児童が安心して学校生活を送れる状況を把握することができた。</p> <p>学校生活を送るうえで整理整頓が基本であるが、大変良く整理整頓がなされており、児童が気持ち良く授業を受けられる様子を把握することができた。</p> <p>全校表現活動の「遠野の里の物語」等、センター校に恥じない模範的な取り組みがなされている様子を伺うことができた。</p>
附馬牛小学校	<p>ピアノが物品台帳に記載されていなかったので、適正な台帳整備</p>

	<p>をされたい。</p> <p>安全点検については、計画的に実施されており、破損箇所は適時に修繕されており、児童が安心して学校生活を送れる状況を把握することができた。</p> <p>校内の整理整頓が行き届いており、校舎を大切に使用している状況を把握することができた。</p> <p>小規模校のハンディーをカバーするため沿岸の大規模校(山田南小)と交流をする等、伸び伸びと児童が育っている様子を伺うことができた。</p> <p>小規模校ながらも地域住民の協力を得て効率性の高い取り組みがされていると思われた。</p>
土淵小学校	<p>ピアノが物品台帳に記載されていなかったので、適正な台帳整備をされたい。</p> <p>安全点検については、計画的に実施されており、児童が安心して学校生活を送れる状況を把握することができた。</p> <p>電子黒板機能付デジタルテレビの使用日誌の整備と活用が見られず、他の小学校との差があるのではないかと思われる。</p> <p>佐々木喜善生誕の地にふさわしく、地域住民の協力を得て、全校児童が子ども語り部として昔話の伝承活動に取り組んでいる様子を伺うことができた。</p>
青笹小学校	<p>除雪機及び物品台帳に記載されていないアップライトピアノがあったので、適正な台帳整備をされたい。</p> <p>安全点検については、計画的に実施されており、児童が安心して学校生活を送れる状況を把握することができた。</p> <p>地域全体で地域の学校を大切に使用している様子を伺うことができた。整理整頓もきちんとなされており、訪問して気持ちの良さを感じた。</p> <p>地域住民の協力を得て、全校で郷土芸能(しし踊り)の伝承活動に取り組んでいる様子を伺うことができた。</p>
上郷小学校	<p>除雪機が物品台帳に記載されていなかったので、適正な台帳整備をされたい。</p>

	<p>安全点検については、計画的に実施されており、児童が安心して学校生活を送れる状況を把握することができた。</p> <p>電子黒板機能付デジタルテレビの活用が他校の模範となると思われる。特に英語のソフト教材を重点的に活用されており評価できる。</p> <p>地域住民の協力を得て、全校で郷土芸能(しし踊り)の伝承活動に取り組んでいる様子を伺うことができた。</p>
遠野中学校	<p>物品台帳に記載されていなかったピアノもあったので、適正な台帳整備をされたい。</p> <p>物品台帳の整理方法は評価できる。しかし、全体的に校内が雑然としており、学校経営方針に掲げている「落ち着いて学習できる教育環境の整備・充実に努める。」方針に沿って、校内の整理整頓を望む。</p> <p>父母会や地域の協力を得て、クラブ活動等で成果を上げている様子を伺うことができた。</p>
附馬牛中学校	<p>ピアノ、除雪機が物品台帳に記載されていなかったので、適正な台帳整備をされたい。</p> <p>理科室の薬品庫の耐震等も含め、整理整頓が適正に行なわれていると認められる。</p> <p>電子黒板機能付デジタルテレビが良く活用されており他校の模範となると思われる。</p> <p>地域と一体となり、地域を大切に地域の資源を再確認している活動等は評価できる。小規模校を感じさせない学校づくりをしている様子を伺うことができた。</p>
土淵中学校	<p>物品台帳に記載されていなかったアップライトピアノがあったので、適正な台帳整備をされたい。</p> <p>特別教室が整理整頓されており、授業を気持ち良く受けられる環境は評価できる。</p> <p>全校で遠野物語を題材にした文化祭での演劇の上演等、地域と一体となった取り組みをしている様子を伺うことができた。</p>

青笹中学校	<p>物品台帳に記載されていなかったアップライトピアノがあったので、適正な台帳整備をされたい。</p> <p>電子黒板機能付デジタルテレビの活用を期待する。</p> <p>地域住民が進んで学校行事に参加している様子を伺うことができた。また、地域と一体となった郷土芸能(しし踊り)の伝承活動の取り組みは定着しており、学校のイメージにもなっていると感じられた。</p>
上郷中学校	<p>寄贈されたグランドピアノやアップライトピアノ、除雪機が物品台帳に記載されていなかったなので、適正な台帳整備をされたい。</p> <p>理科室及び薬品倉庫が雑然としており、整理整頓に力を入れ適正な物品管理をされたい。</p> <p>学年机の使用については、3年間同じ机を使用させるため、机にビニールのデスクマットを敷いて長持ちさせる工夫が見られ、物を大切に扱う指導力が感じられた。他の学校にもPRして欲しい。</p> <p>地域と一体となった郷土芸能(しし踊り)や上中太鼓の伝承活動の取り組みは定着しており、学校のイメージにもなっていると感じられた。</p>